



「できる」ように努力することが尊い

中学校は極論を言うと、大人になるための準備期間として、「より良い習慣」を身につける場だと考えています。より良い基本的な生活習慣、より良い学習習慣、周囲と協働して物事を処理したり解決していったりする習慣、ルールやマナーを学び実践していく習慣等、多くのより良い習慣を身につけていくことだと考えています。そういう意味では、「できない」ことを「できる」ようにする場とも言えます。できないことは恥ずかしいことではなく、「できる」ように努力しないことこそ恥ずかしいことです。「できない」とは「できる」までの努力の時間を指しています。

誰もが生まれたときから数学ができた、英語をしゃべったり、キャッチボールができる人はいません。すべて「できる」ようになったものです。できるようになるためには時間と努力が必要です。赤ちゃんが日本語をしゃべるようになるために努力したわけではないように、小さいときには意識しなくてもできるようになっていくことはたくさんあります。

しかし、例えば、自転車に乗るといった場合はどうでしょうか？ 乗れるようになるために一生懸命練習されたことを思い出される方も多いと思います。みんなが同じような時期に同じように乗れるようにはなりません、練習することで乗れるようになります。できるようになりたいと意識して努力するとできるようになるのです。最初はできなくてもできるように努力することで道は拓かれるのです。人が成長していく過程では、できるようになるために努力が必要なことが増えていくように思います。努力について学ぶことを3つ紹介します。

- ①努力した成果として「できなかった」ことが「できる」ようになるということです。努力することで「できる」ことが増えていくのです。努力した成果は自分のものです。
- ②できるように努力することの尊さに気づくことです。物事は努力なしに身につけません。
- ③努力できる自分や人の尊さに気づくことです。努力する者は努力する大変さに気づき、努力している自分や人を大切に思うことができます。

目標を叶えるために粘り強く努力し続けることこそが尊いのです。めざす子ども像「響き合い挑戦するねばりっ子」に向けて、努力し続ける生徒を励まし、支えます。生徒が努力の尊さを学ぶことができていないのであれば、私たちの努力も実っていないということです。私たちも努力し続けなければなりません。そんな姿勢の学校でありたいと思います。

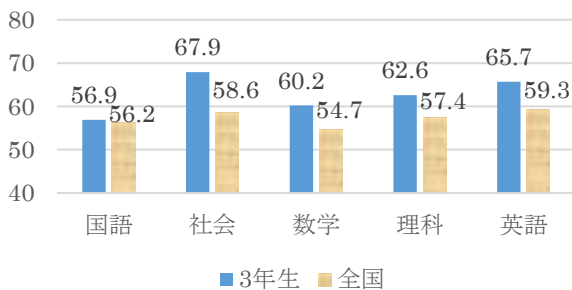
標準学力検査結果について

毎年4月に行われる標準学力検査（NRT）の結果が返ってきました。

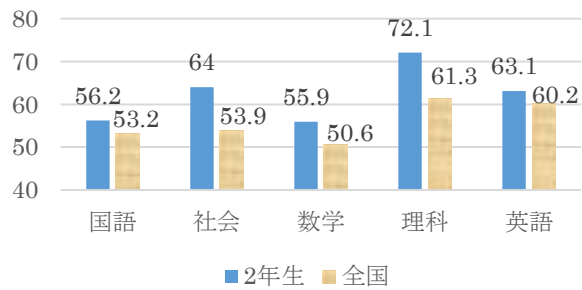
どの教科も正答率、偏差値とも全国平均を上回りましたが、領域別では、2年生国語の「書くこと」、3年生国語の「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、3年生理科の「気象とその変化」では、少し全国正答率を下回りました。現在、各教科で全領域について課題等を分析し、対策や今後の取り組みについて検討を行っているところです。

しかし、私たちは、ややもすると生徒たちを全体として捉え、平均に目を向けがちです。各教科の領域別の結果について上記のように述べましたが、これも全体としての傾向を述べたにすぎません。その傾向を踏まえつつも、私たち教職員の対象は生徒一人ひとりです。個別の詳細な分析や助言が必要です。これから教科担任や学級担任が生徒たちの現状を見つめ、より良く伸ばすために様々なアドバイスを行っていきます。一人ひとりの良いところは伸ばし、弱点を補強する。この繰り返しが大切だと考えています。

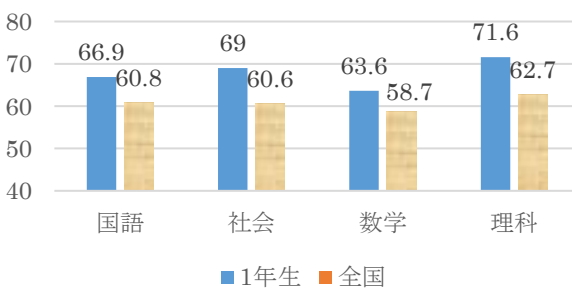
3年生正答率



2年生正答率



1年生正答率



偏差値

	国語	社会	数学	理科	英語
1年生	53.9	55.2	52.6	55.7	—
2年生	51.6	55.3	52.7	56.3	51.9
3年生	50.4	55.3	52.9	52.9	53.5



県総体中部地区予選結果について

6月3日(木)、4日(金)を中心に県総体に向けた中部地区予選が開催されました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、生徒の健康・安全を第一に考え、各競技の専門部の対策のもと、室内、室外問わず、大会規模や運営方法等の配慮を行った実施となりました。どの種目も生徒たちは力を出し切りました。

<軟式野球>

1 試合目 大栄中 5-6 湯梨浜中

2 試合目 大栄中 5-0 倉東中

3 試合目 大栄中 5-6 湯梨浜中

<バレーボール> 優勝(県総体出場)

予選リーグ 1位通過

大栄中 2-0 河北中

大栄中 2-0 倉東中

決勝リーグ

大栄中 2-0 三朝中

大栄中 2-0 東伯中

大栄中 2-1 湯梨浜中

<バスケットボール>

女子1回戦

大栄中 22-103 湯梨浜中

<男子バドミントン> 4位

大栄中 1-2 湯梨浜中

大栄中 1-2 倉吉西中

大栄中 3-0 北条中

大栄中 1-2 湯梨浜学園中

シングルス

松浦達也 5位(県総体出場)

<女子バドミントン> 2位(県総体出場)

大栄中 3-0 湯梨浜中

大栄中 1-2 東伯中

大栄中 3-0 北条中

大栄中 3-0 倉西中

シングルス

治郎丸莉子 3位(県総体出場)

竹本双葉 4位(県総体出場)

ダブルス

谷口瑠愛・徳山誓 3位(県総体出場)

尾田彩晴・完田いづみ 4位(県総体出場)

<柔道>

女子個人(48kg以下級) 松原沙姫 1位(県総体出場)

男子個人(50kg以下級) 松原匠汰 2位(県総体出場)

男子個人(50kg以下級) 竹歳輝良 5位(県総体出場)

<ソフトテニス> 2位(県総体出場)

女子団体予選リーグ 1位通過

大栄中 3-0 久米中

大栄中 3-0 倉西中

決勝トーナメント

大栄中 2-1 河北中

大栄中 2-1 倉東中

大栄中 1-2 湯梨浜中

個人

山柙由実・廣芳樺恋 ベスト8(県総体出場)

濱田果歩・吉本知佐 ベスト12(県総体出場)

<卓球> 3位(県総体出場)

男子団体予選リーグ 1位通過

大栄中 3-0 東伯中

大栄中 3-0 北条中

大栄中 3-0 倉東中

決勝トーナメント

大栄中 3-2 倉西中

【準決勝】 大栄中 2-3 赤碕中

【3位決定戦】 大栄中 2-3 北条中

個人

小椋優心 12位(県総体出場)

<剣道>

男子団体リーグ戦 敗退

大栄中 1-2 赤碕中

大栄中 0-2 河北中

大栄中 4-0 湯梨浜学園中

大栄中 1-3 東伯中

個人戦

福山 空 ベスト12(県総体出場)

福山 悠 ベスト8(県総体出場)

<陸上競技> 県総体出場

男子総合 5位

女子総合 8位

男子低学年4×100mリレー 1位

女子低学年4×100mリレー 5位

男子1年100m 倉光凜人 5位

男子1年100m 田中翔平 6位

男子1年100m 田中昊平 8位

男子2年100m 財賀右京 1位

男子400m 山口育夢 4位

男子400m 徳山 天 5位

男子400m 西村音旺 7位

男子800m 吉田 零 5位

男子1年1500m 徳山 色 3位

男子共通1500m 吉田 零 5位

男子走幅跳 財賀右京 4位

男子走幅跳 鹿島熙倅 8位

女子1年100m 磯上結香 6位

女子1年800m 井高桜子 2位

女子共通800m 道祖尾菜穂 6位

女子110mH 吉田直乃颯 8位

女子走幅跳 片山瑠菜 8位

女子砲丸投 徳岡葉名 6位

女子ジャバリックロー 徳岡葉名 5位

